

東京湾水質一斉調査結果について

環境省



The Knights

環境省は、平成 20 年 7 月 2 日を中心に調査した国と八都府県等による初の東京湾水質一斉調査結果の速報を取りまとめました。この調査結果は、海域 222 地点、河川 281 地点、湖沼 1 地点、下水処理場 64 地点、計 568 地点で調査した結果になります。

- ・ 湾内の水温について:表層水温は約 20℃から 25℃であり、湾奥部で高く、湾中央から湾口にかけて低くなっています。表層から底層までの温度差は約 5℃から 6℃であり、水深が深くなるほど低くなっています。
- ・ 塩分について:表層の塩分は約 11~33 の範囲であり、湾奥部で低く、湾中央から湾口にかけて高くなる傾向があります。水温と塩分については、上下の水が混合しない成層化がみられます。
- ・ 溶存酸素量(DO)について:湾中央部から湾奥部に広がりをもった底層の貧酸素水塊が分布している状況がみられます。
- ・ 化学的酸素要求量(COD)について:河川・湖沼及び下水処理場でのCODは 3~11 mg/lの範囲になっています。CODが低い調査地点は河川の上流部に位置しています。

今後はこれらの調査結果を踏まえて、大学や研究機関の専門家の意見を踏まえたモニタリングの推進や次年度以降も継続した東京湾一斉調査の実施が必要となります。又、12 月には本一斉調査の解析結果(速報)が発表される予定です。

当社では、水質分析において、長年の実績があり、多検体・短納期分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2008 年 7 月 31 日付 環境省報道発表資料
2008 年 7 月 31 日付 EICネット
2008 年 7 月 31 日付 埼玉県HP

水質分析箇所 小林優香